



「県人会」

福島県白河市在住

水野 晴夫

(昭和55年園芸学科卒)

卒業後、福島県に戻り

就職した農学部の同期関根正之、横山義弘、桜井孝、佐藤勝男、私の5人が、毎年12月の最終土日に忘年会名目で始めた県人会は、今年で43回目を念願の鶴岡での開催です。いつかは県人会を鶴岡でというのが私たち5人の願いでした。

唱歌「雪の降る街を」のモデルの地鶴岡の冬は、農学部裏の国道の歩道を普通車を見下ろしながら、トラックの運転台の高さで歩いたのを思い出します。下から雪が吹き上げてきて、夜半に鳴り響く冬の雷は、福島県出身の私に

は驚きました。12月末にこの地で県人会を開催することを躊躇させてきました。5人が定年退職・年金生活の年齢となり、10月に初めて鶴岡で県人会を開催を待たず、急逝しました。そして、奇しくも今年の当番幹事の私のものとへ「鶴窓会だより」寄稿の依頼が送られてきました。

福島県の農協、農業共済、行政、農業外から実家の桃農家、教育の場で人生を送ってきた私たちの県人会は、5人で始まり、結婚して2倍の人数となり、子供たちも参加し、2001年には総勢20名を数えました。月山羽黒山湯野浜海岸、風光明媚な鶴岡で青春の学生時代を送った私たちには、あの加茂水族館がクラゲで世界的にも有名になるなど思いました。私たちの人生の基礎には農学部での学びがよらないことでした。

県人会では、もちろん農業にかかる話題もありました。私たちの人生の基礎には農学部での学びがよらないことでした。本稿が、皆さんの中に留まるところ、私たち5人は鶴岡農学部の変わりように驚いた余韻に浸っていることだと思います。合掌。



「指」

秋田県立矢島高等学校勤務

佐藤 久男

(昭和59年園芸学科卒)

農家を継がなかつたことをずっと引け目に感じてきた。

私は農村に生まれ、農家の長男として大家族の中で育つた。隣近所や親戚も皆農家で、大人の男性は日に焼けたあかがね色の肌をしていて、その指は太く、掌は大きく厚く、幼い私は自分の細く白い指を恥ずかしく感じていた。テレビ等で農業を選択できるとは思いもよらず、自分は農業をするものだとずつと思っていた。

しかし私は大学を出て教員になった。水田以外にもハウス栽培や花卉園芸など、工夫したいではいくらでも高

収入を得られる可能性はあつたが、それに気づくことが出来なかつた。自分の家の水田や畑から得られる収入の限界を感じて他の職業を選んでしまつた。時代はぐんぐん経済成長をする右肩上がりの時代で、農村生活も音を立てて進歩していく。この40年で農家を取り巻く状況は大きく変わつた。私が知つてゐる農業は家族農業だったがいつの間にか機械農業になり、今は企業農業になりつつある。しかし今も自分の原点は農家の長男だという感覚は一向に消えない。たまに農業をやつていふ小学校の同級生などに会うと、日に焼けた顔や力強いう太い指に気後れをしてしまふような感覚になる。

太く短い指が農業を長年続けてきた者の勲章だとすれば、教員となつた自分には何かそれいかわるものはあるのだろうかと考える。仕事で一番使つたところが鍛えられて太く丈夫になるというのなら、一番はやはりこの生徒はどういう状態なのか、なぜこの行動をしてい

るのか、なぜこんなことをしているのか、長年の経験に基づく観察力、分析力、そして相手に応じて一番効果的なアドバイスをする力が身についたと思う。決して外からは見えないが、自分も40年、色々な経験や苦労をして教員として働いてきた。その心もきっと太く立派に鍛えられているに違ひない。



「大学時代を振り返って」

神奈川県海老名市在住

市川 東

(昭和60年農業工学科卒)

大学を卒業して37年が経過しました。卒業後、神奈川県の農業土木職として採用され、今年の3月に定年の1年前に退職しました。在職中は、自分なりに日々全力投球で過ごしてきましたので、38年間以上の業務を充実して携わってきたと思ってます。これ等々から刺激を受け成長させていただいたお陰と感謝しています。

さて、大学時代を振り返っていくつか記述してみます。

昭和56年4月、山形市平清水にある学寮に入寮しました。この年の冬は、近



農業体験農場・栽培と加工
Yamagata Agri Academy

山形アグリアカデミー

おいしい山形推進機構一般賛助会員・やまがた避難者支援協働ネットワーク会員
代表 斎藤 博行(昭和45年農学科卒業)

事務局/〒990-2474山形市大字沼木433-27
TEL・FAX/023-645-1802 携帯電話/090-8251-3521
E-mail : saito433@ma.catvy.ne.jp

JA庄内みどりは、自然の恵みと人ととのつながりを大切に農と暮らしの新たな創造によりみどり豊かな地域社会を目指します。

庄内みどり農業協同組合

代表理事組合長 田村 久義

〒998-8510

山形県酒田市曙町一丁目1番地

TEL 0234-26-5500

FAX 0234-24-5777



「JA産直いちば・あんべみれ」 <http://ja-store.net/>